

日吉大社自然観察倶楽部通信

No.28 ～新年に祈る～奥総社参拝

H28年1月10日

日吉大社の鳥居の側に、新しく境内を描いた看板があります。西本宮と東本宮の他に、八王子山の上には奥宮が鎮座しています。ですが、その左手に「奥総社」が書かれているのをご存知でしょうか？今回、神主さんの協力を得て、13名で奥総社に参拝してきました。

社に参拝してきました。

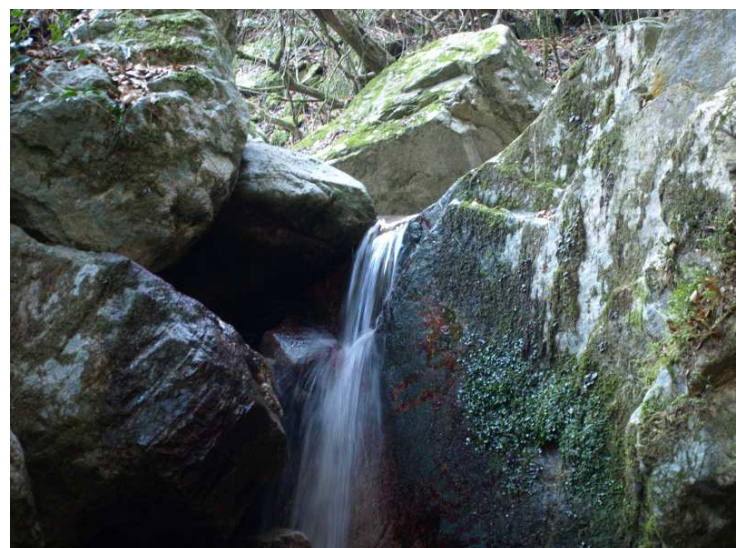
「奥総社とは、神宮寺跡に建てられたお宮であり、その神宮寺とは、天台宗の祖・伝教大師最澄上人の父三津首百枝（みつのおびとももえ）が子を授からん事を日吉大神に祈願する為に入山し辿り着いた場所で、草庵を建立したのに始まる。」また、「最澄自身も、父の行を満願しようと、神宮寺跡で修行をした」と言われています。

早速、西本宮横でお祓いをして、ルートに入ります。今回は、日吉溪谷のルートと八王子山からのルートで登ります。(⇒[通信 23 日吉溪谷](#)；[奥総社参拝](#)を参照)

日吉溪谷のルートに入ると、ほどなく大宮川に突き当たります。去年の記録によると、川原には雪が残っていましたが、今年は暖冬のせいか雪は見当たりません。ヒンヤリとした川浴いを進み、大宮

川を2回渡ります。上の写真の様に川を渡り、歩を進めていきます。

川を渡りきると、左手に洞穴が見えました。巨岩の上に木が生えていて、岩と



岩の間からは川の水が流れています。

この場所は八王子山の金大巖（こがねのおおいわ）とまではいきませんが、大きな岩がごろごろしています。今の様に道が整備されている登山道とは違い、三津首百枝も道を切り開きながら大宮川を登ったと推測されます。

最後の急坂を登ると、建物が見えてきました。奥総社に到着です。

八王子山から横川に至るコースを登ってきたメンバーとも合流して、須原さんから、奥総社を前に、旧神宮寺の説明をしていただきました。

それによると、三津首百枝(最澄の父)は、何かいい匂いに誘われて、この地で行をすることに決めたとか。また、中に収められている彫像や建物は、日吉大社周辺の整備で伐採した檜を使っていて、比叡山延暦寺より縁の深い本願堂の古材も頂戴して建てられました。

遺構の渡り廊下跡や建物跡を説明して頂いた後、ついに、奥総社を開けて頂きました。普段は扉が閉まっている状態です。

右が奥総社で、
左が、伝教大師坐像です。



最後に、私たちは願い申を書き、納めさせて頂きました。途中、横川への登山者も何名か混ざり、奥総社前でまたお祓いをしていただきました。後日、この場所で護摩焚きをされる予定です。辻田さん作の2年物の菊酒（坂本菊のお酒）も頂き、新年の祈願をすることが出来ました。

日吉大社自然観察倶楽部HP

<http://hiyositaishasizenkansatu.jimdo.com>